

Sports Net

ちば 2021年7月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture
2021年7月1日

「スポーツは平和とともに」
新日本スポーツ連盟千葉県連盟
〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17
Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454
URL <http://njsf-chiba.perma.jp>
E-mail njsf1970chiba@gmail.com
発行人 園川 峰紀
通巻 231号

1位には《ハイビスカス》の植木鉢を贈呈 静かな中での熱戦！2人の団体戦に59ペアが参加

新型コロナ感染症拡大がなかなか収まらない5月中旬の22日（土）卓球協会は千葉市・花島公園体育館でペアマッチ卓球大会を開催しました。

会場いたるところで熱戦が！



2021年度に入ってから4月29日（休）千葉・ポートアリーナでの春季大会に続く今年度2回

目の大会でした。

ペアマッチ大会はご存知、スポーツ連盟の東京卓球協会が考えだした『2人の団体戦』。今や全国に普及しています。

昨年12月26日花島体育館でのダブルス大会では感染対策という事で出入口を開けざると得なく、廊下から風が入りボールが揺れてしまうとの指摘があったため、今回は入口にパーテーションを立て掛けたりカーテンを張る等の工夫を、また消毒液で床が濡れてしまうとの声があった為、小型のハンドスプレーも用意しました。

4月8日受付開始、4月25日締切で募集したのですが、定数が100名余りという事で締切日1週間前から断りの電話を入れなければならない程でした。もちろん登録員が優先。

締切日近くでは2人とも登録していないと参加出来ない状況でした。

コロナ禍のため館内での飲食は禁止。幸い当日は晴れていたため昼食は体育館前のベンチなどで摂って貰う事にしましたが、靴の履き替えなど面倒なこともあり早く体育館の中で食事が出る様になることを願っています。

今回も男子の参加者が女子の参加者24ペアよりも多い35ペアでした。

全体的にレベルは高く全国大会出場者や大学生ペアも多数参加。激しいラリーが続きました。

但し感染症拡大の4波襲来の中大きな声は厳禁！静かな中にも熱戦が続きました。

参加者からは「コロナ禍において皆さんマスクをしながらの試合でしたが楽しくプレーすることができました。コロナに負けずこれからも宜しく。」（高橋さん）

男子Aブロック優勝
Ponds 内田・大関組



（内田さん）

「初めての優勝でとても嬉しいです。」（柳澤さん）等のコメントも頂きました。

今回は毎年3月のスリーダブルス女子団体戦で好評の植木鉢が賞品でした。

1位は《ハイビスカス》 2位は《ニューギニアインパーチェンス》でした。

男子 Cブロック優勝
チームへなちょこ
島倉・緑川組 →



女子Bブロック優勝
みどり 中嶋・長谷川組



HELLCATS 辛勝劇的勝利 2021年度C1リーグが開幕

5月30日（日）に千葉県サッカー協議会C1リーグが開幕しました。

会場は天然芝の緑が美しく映え、良く整備されている中田球技場。

開門と同時に今季初参加の千葉敬愛大学サッカー部のメンバーが挙って

入場、コロナ禍の鬱陶しい気分を一掃してくれました。

今季のC1リーグ登録チームは昨年同様5チームでした。

4年ほど登録していた元市立船橋高校卒業生チームが都合により退会しましたが、代わりに若い大学生チームが登録、新鮮な雰囲気の中でのリーグ開幕となりました。

試合に先立ち各チームに集まって頂き、磯部運営委員長からシーズンの開始に当たり『コロナ禍の中でも皆さんルールを守り楽しく頑張りましょう』と開幕の挨拶がありました。

第一試合は外国籍の選手も抱えたベテラン『HELLCATS』対若い大学生チーム『敬愛大学サッカー部』。今期の審判基準を示すために特別に来て頂いた派遣審判さんのホイッスルでキックオフとなりました。

前半は出足のやや遅いHELLCATSに対し敬愛大学が若さで攻めるもHELLCATのバックスに阻まれ、一方HELLCATSは中央突破を狙うもシュートならず、両チームともなかなか

得点には至りません。ところが、38分ゴール前の混戦から

何と！OWNゴールでHELLCATSが1点を失い敬愛大学が先行。

後半も両チームともなかなか得点には結びつ



開会式セレモニー



新規加盟の敬愛大学チーム

かなかつたものの、27分HELLCATS岡田選手が左足で放ったシュートのヘディングシュートが決まりやっと同点となりました。

敬愛大学も負けじと再三HELLCATSゴールを狙うもポストに当たったりとして得点ならず。

このまま引き分けか？と思っていたところ終了2分前、敬愛大学の際を突きゴール前でHELLCATSがゴールキーパーと一対一の状況を作り出しました。狙いすましたシュートが左隅に決まり、HELLCATSの2点目。

アディショナルタイムはほどなく過ぎ、試合終了のホイッスル。HELLCATSが劇的逆転で辛くも開幕戦勝利を飾る事ができました。

この試合では、派遣主審さんから両チームとも良い試合展開ではあったが、今後は控え選手は全員ビブスを着用すること更に試合に出場しない選手はマスクをする様にとの指導がありました。

この日の2試合目は11時から『FCミラノ』対『ワイルドマジョーラ』戦が行われました。

若さのあるFCミラノが、若干動きの鈍ったベテランのワイルドマジョーラに1対0で大勝しました。

今期は上記のチームの他『東和FC』の5チームでリーグ戦を行うことになりました。



敬愛大学 対 ヘルキャッツ

リアル二刀流見参!

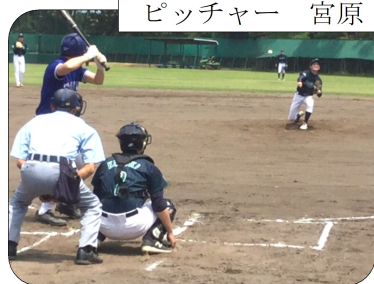
花園サミツ・宮原選手、投打にわたる活躍で連勝を伸ばす 野球協リーグ戦注目のチーム・中盤レポート

3月14日(日)開幕の千葉県野球協リーグ戦も順調に試合を消化。試合数が少ないチームでも4試合、多いチームでは6試合を行っている中盤戦にかかる時期となり、今年初めてリーグ戦に参加した「花園サミツ」が負けなしの連勝を続けている旨の情報を聞き、果たしてどんな試合を行っているのか興味もあり、5月30日(日)稲毛海浜公園野球場で開催された「花園サミツ」対「フランシェ」の試合を連盟機関紙「Sports Netちば」の記事作成も兼ねて観戦してきました。

試合前に花園サミツ・冨ヶ原キャプテンに今日の試合に臨む気持ちを伺ったところ「まずは守備でリズムを掴み、全員野球で臨みたい。」とのこと。

メンバーを見れば全員とにかく若い。全員が24歳という躍動感あふれるチームとみました。

先行「花園」後攻「フランシェ」で午前10時45分プレーボール。1回表・花園の各バッターは相手投手のコントロールの乱れで掴んだ満塁のチャンスを生かしきれず、クリーンアップは力が入り過ぎたのかポツ



ピッチャー 宮原

プフライを打上げるばかりで無得点。

その裏のフランシェの攻撃は、花園・宮原将大投手の速球にきりきり舞いとなり無得点に終わる。

このまま、投手戦になるのかな?と思いきや、2回表は花園の打線爆発。先頭打者がセカンドゴロとなるも俊足を生かしてセーフ。すかさず2盗、相手側の守備の乱れ、タイムリーで2点先取、その後、塁を埋めたところでこの日3番に入った宮原投手のスリーランとなるランニングホームランで一挙5点のビッグイニング。正に今大リーグを連日賑わせている大谷翔平選手張りにリアル二刀流を見せてくれました。

2回裏以降は2塁を踏ませぬ宮原投手の速球がさえわたり完封を飾りました。なお、花園は3回以降

も攻撃の手をゆるめず4回表に2点、5回表に7点と



バッター 宮原

合計14点の大量得点となりました。

フランシェの5回裏の攻撃が終わった

時点で規定によりコールドゲーム。これで花園は連勝が更に伸びて5勝0敗1引き分け。現在3部で同じく5連勝している「テルク」と激突する6月27日(日・古市場球場)の試合が3部優勝を掛けた事実上の優勝戦と言えそうです。

試合終了後に冨ヶ原キャプテンにインタビュー。

勝因はと問うと「ピッチャーが良く投げてくれたので守備もリズム良くはいれました。声を掛け合い点差は開きましたが集中力を切らすこともありませんでした。」宮原投手の投打にわたる活躍を聞くと「今日の勝利は彼の活躍につきますが、本来の四番打者は用事があり今日はこれなかったんです。」花園持つ若さと潜在能力が益々楽しみになりました。



花園サミツ

試合結果は次のとおりです。

チーム名	1回	2回	3回	4回	5回	計
花園サミツ	0	5	0	2	7	14
フランシェ	0	0	0	0	0	0

同日行われた他の試合結果：第1試合：放医研 v s 虚人スターズ：5-0/第3試合：黒猫vs Brothers：0-0/第4試合：東熱ダイナマイツvs FC：15-0

理事会報告

2021年6月24日（木）、今期第1回目となる理事会を開催しました。

当日はコロナ禍の中会場として予定していた穴川コミュニティセンターの利用時間が制限されるなど厳しい条件が重なったため、県連盟事務所とZOOMによるオンラインとを併用する形で開催しました。

こうした形式での開催は初でしたが、状況によってはこうした会議の持ちようも検討していく必要があるのではないかという意見も出ました。

園川理事長が国体の関係で栃木に出張していた関係もあり、文書で事前にいただいた挨拶を皮切りに

①自己紹介

②総会以降の各協議会の活動

について参加者から発言いただきました。

サッカー、野球、テニスなど屋外競技は感染拡大の防止をしながら、大会再開にこぎ着けていること。特に、テニ

スはこうした活動の会もあり、会員数が700名を超えるという過去最高の峰を構築していることなどの報告がありました。

屋内競技の卓球協議会からは、会場の利用者数制限などもあり、大会を開催しても赤字になってしまうことがあることなど、厳しい状況の中でも会員の要望に応え工夫しながら大会開催にこぎ着けている状況の発言がありました。

【財政問題】

総会時に何人かの代議員から発言のあった、種目別事務支援費については、大会開催の状況とそれに伴う財政収支を見ながら、出せる範囲で出しましょうと言うことで意見が出されました。

事務局からは事務所の家賃や機器のリース代、役員の活動補助など経常的経費が支出の大部分を占める状況があり、可能な限りの支援をお願いしたいとの発言がありました。

【50周年記念】

式典については今年度は中止（見送る）せざるを得ない。記念誌は、すでに県教育長、千葉市長などから祝辞も寄せられているが、県連盟各協議会のメッセージが届いていないことなどが話されました。

スポーツアラルト

～古代オリンピックから現代を考える～

伝承によると古代競技会は、B. C. 776年に開催され、その後4年に一度（古代ギリシャでは4年間を暦の1期とし、オリンピアードと呼んでいた）

開催され当初は1日のみで、短距離走だけだったが、古代5種目（幅跳び、短距離走、円盤投げ、やり投げ、レスリングを1人の競技者が行う）や長距離走、レスリング、ボクシング、パンクラティオン、戦車競走などが加わり、5日間行われるようになった。

古代ギリシャの競技場は現在のところ4ヶ所確認されていて、四大競技場と呼ばれている。イストミア、ネメア、オリンピアとピュチア競技会が行われたデルフィ（デルフォイ）に残っている。

2012年に「第5回復興ネメア競技会」にスポーツ連盟の仲間と共に参加しました。古代の服装（貫頭衣と裸足）で約100mを走ってきました。

1位には椰子の枝、頭にはリボンを巻かれるだけです。これを朝から夕方まで続くのです。

古代ギリシャでは精神と肉体の統一を理想としており、市民は学問・思想を学ぶと共に、身体訓練にも励んでいたと言われている。

哲人プラトンは競技会に出て、レスリングで優勝したと伝えられている。

奴隷制社会であったギリシャ・ローマ時代を単

純に現代に当てはめるのは問題であるが、スポーツと平和の関係を現代に生かす努力は大事にしたいものである。

競技会の前後（往復を含めた期間）は全ての戦いを止めることになっていた（エケイリア：オリンピック休戦）。勝敗にだけ目を向けるのではなく、平和と友好の実現を目指すという「オリンピック・ムーブメント」の面にも目を向けることが大事である。

古代競技会は、競技者間の勝敗の売買など内部的腐敗に加え、異教の儀式を嫌ったキリスト教徒のローマ皇帝テオドシウス一世によりA. D. 393年禁止された。しかし約1200年間、一度も中止されずに続けられてきた古代競技会の歴史から学び、生かすことが今こそ必要である。

1980年のロサンゼルス大会以降顕著になった商業主義に加え、今回のコロナ禍で大会開催が危ぶまれたがIOCを含む実行委員会は強行に実施を決めた。1896年にアテネで開催され、戦争で3回中止された。

【以下：佐伯年詩雄氏（スポーツ社会学）】

コロナの死者は世界で300万人を超えました。

これは第一次世界大戦の1年間の死者数より多く、コロナとの戦争をやっているような状況です。

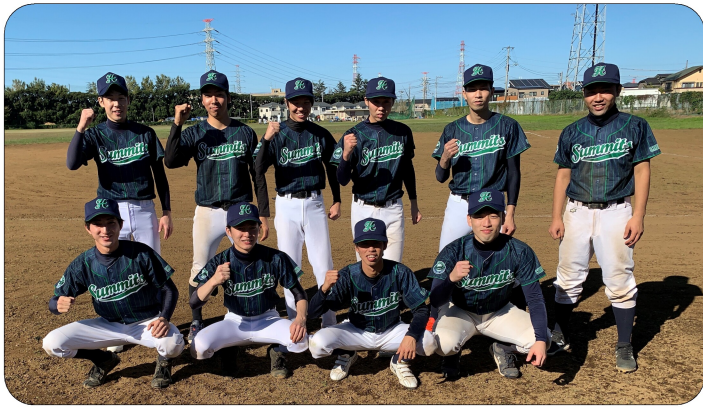
人類が一致団結して危機に立ち向かわなければならぬときに、五輪をやっているのか。国際オリンピック委員会（IOC）は中止を決断すべきです。5/9 赤旗（理事 秋本 信孝）

クラブ紹介

花園サミツ

野球

- ① **クラブ（チーム）名** 花園サミツ
- ② **代表者** 富ヶ原 駿
- ③ **チームの連絡先**（連絡希望の方は県連盟事務所）
- ④ **チームの概要**
（名前の由来・チームの特徴・練習日程・人数等）



<名前の由来>

チーム創立は5, 6年前。チーム名「花園サミツ」の由来は、母校・花園中学校の野球部の同級生で結成し「サミツ = summit」は、頂上を意味する言葉なので頂点を目指すという意味が込められています。

チームカラーの緑色は、花園中在学中、緑学年で、かつ制服のネクタイの色が緑色だったことから採用。

集合写真のユニフォームを作ったのは新スポ連野球協リーグ戦に参画しようと決めた昨年（2020年）からです。そして、満を持して千葉県野球協リーグ戦に今年度から参戦したということになります。

<チームの特徴>

常に全員野球を心がけており、鉄壁守備陣と強力打線が売りです。

投手力は本格派・宮原、変則派・馬場の2枚看板に加え左腕・木村、鉄腕・篠原、スラブ・玉川の控えが充実しており投手王国を誇っ



ています。

一方、打撃陣は不動のリードオフマン後藤が1打席目でチームに勢いを与え、クリーンアップで打点を荒稼ぐという強力打線です。

なお、全員同い年というのも特徴ですね。花園中ではクラスはバラバラでしたが同じ部活仲間という意識で今もつながっています。そんな訳で監督兼キャプテンは私・富ヶ原が務めています。

<練習日程等>

私たちの原点は主に朝野球を行って力を伸ばしてきたことにあります。地元の球場でフリー打撃を中心に練習して

います。個々のメンバーはジムに通ってトレーニングをしています。

<登録人数等>

13人のうち2人が幽霊部員です。

なお、メンバー13名の内11名が高校でも野球を続けていたのがチームの強みかもしれません。

選手募集は特に考えていません。なお、女子マネージャーは2名が在籍しています。

⑤ **クラブのアピール**

リーグ戦参加にあたり「てっぺんを取ることを目標として掲げています。具体的には最短で1部に上がりリーグ優勝を目指すことを目標としています。また、今期のトーナメント戦でも全国大会出場を目指しています。

⑥ **その他**

（スポーツに関する情報・スポーツ連盟に期待すること等）

コロナ禍で球場確保が困難と思いますがもっともっと試合数が欲しいです！新スポ連関係者の方引き続きよろしくお願いします。

余談ですが今年のプロ野球は阪神タイガースが強いですね！私の一番好きな球団です。タイガースにあやかって花園サミツもリーグ優勝目指して頑張るぞ〜！



SPORTS CALENDAR

7月

- 7月3日(土) 祭典・テニス・男女シングルス
- 4日(日) 野球協議会リーグ戦
祭典・テニス・混合ダブルス
サッカー協議会リーグ戦
- 11日(日) 野球協議会リーグ戦
チーム対抗テニス大会
- 16日(金) ウォーキング協議会例会
- 18日(日) 野球協議会リーグ戦
サッカー協議会リーグ戦
反核・平和マラソン
- 22日(木) 祭典・テニス全国予選会・男女ダブルス
- 23日(金) チーム対抗テニス大会・シニア
- 24日(土) チーム対抗テニス大会・男女別
- 25日(日) 野球協議会リーグ戦

全国テニス協議会総会 7月4日(日)
関東ブロックバレーボール大会 7月

8月

- 8月1日(日) 野球協議会リーグ戦
- 8日(日) 野球協議会リーグ戦
チーム対抗テニス大会・シニア&女子D
- 9日(月) サッカー協議会C1リーグ戦
- 14日(土) 祭典・テニス全国大会予選会・混合D
- 15日(日) 野球協議会リーグ戦
ミックスバレーボール夏季大会
- 20日(金) ウォーキング協議会例会
- 21日(土) 祭典・バレーボール大会
- 22日(日) 野球協議会リーグ戦
祭典・テニス全国大会予選会・男女D
壮年男子シングルス
サッカー協議会C1リーグ戦
- 29日(日) 野球協議会リーグ戦
年齢別テニス大会・男子ダブルス
祭典・卓球大会・個人戦

果たして東京五輪・パラリンピックは開催できるのか？

この原稿が掲載される「スポーツネットちば7月号」が発行される7月上旬には「2020東京五輪・パラリンピック」の開催可否についての何らかの結論が出ていることを期待しつつ綴っています。

とにかく招致の段階から問題が多かった東京オリンピック・パラリンピックです。

福島第一原発事故の放射能は完全にコントロールされているという安倍前首相の大嘘ではじまり、招致に重要な役割を果たした前JOC竹田委員を巡る国際賄賂疑獄、新国立競技場の建設を巡り地元で意向を無視した強硬な建設計画と膨大な建設費、コンパクトで安上がりな謳っていた当初予算を大幅に上回る大会運営費。

更に、多くの被災者が未だ故郷に帰れない状況に目をつぶり「復興五輪」を声高に叫びながら舌の根も乾かないうちに、コロナ禍が日本を襲い「人類がコロナに打ち勝った証として開催する」と言っていたが、一向に収束の気配を見せない状況が続く、国民世論の8割近くが中止・延期を求めているにも関わらず「安全で安心な大会運営を図る」と壊れた

テープレコーダーのごとく同じ言葉を繰り返して科学的見地もなにも示さずに「葛西ありき」で突っ走っている菅首相。

無観客での大会であれば無用となる都市ボランティアの相次ぐ辞退、感染拡大の虞の在る聖火リレーの強行と聖火ランナーの辞退。

はたまた、コロナで疲弊している救護現場の実態を顧みず1万人の医療関係者のボランティアを募る組織委員会、更に海外から来る観客がゼロであることから都内小学生の大量動員、数え上げればこれだけ「けち」のついたオリンピックは未だかつてないと思います。

筆者がまだ中学生だった前回の東京五輪と比べれば、なんと人気が無い大会となったのか？ 五輪の目的は一体何なのか？ 一度冷静になって五輪開催の意味を考えてみる時間も必要ではないか？

そんな風に一日一日をすごしているうちにオリンピックという「怪物」が通り過ぎていくのかもしれない。



理事長の独り言